

あたたかなまなざしで「鬼のみち」を行き交う人々や、
このまちの将来を見つめ続けている。



“撮っておき” の たかはま

【第3回】

「ひと」「もの」「文化」などなど、有形・無形を問わず、高浜市の日常の暮らしの中にあるとっておきの「お宝」を紹介します。

高浜ニコニコ鬼広場「巨大鬼面」

「美しい日本の歩きたくなるみち500選」に選定されている「鬼のみち」。その玄関口である名鉄高浜港駅前には、来訪者をりりしくも、やさしいまなざしで見つめ続けている“住民”がいる。高さ4.5m、幅4.2mの「巨大鬼瓦」だ。

製作者は鬼師の加藤元彦さん・佳敬さん親子。平成7年10月、元彦さんの還暦記念に、また、職人の世界に飛び込んだ佳敬さんの勉強のため、大型作品製作の挑戦を思い立った。使用した粘土の量は約5トン。完成までに要した年月は約1年半。その後「『鬼のみち』のシンボルにしてはどうか。」との薦めがあり、市へ寄贈、平成10年4月に設置された。

元彦さんは、鬼瓦の技術普及・伝承に向けたさまざまな要職のほか、平成14年「鬼みちまつり」開催当初から実行委員長も務め、小学生などに瓦製ランプシェード「鬼あかり」の製作指導を続けている。また佳敬さんは、若手鬼師グループ「若鬼土会」で鬼瓦の製作実演・展示といったイベントを行うなど、瓦の魅力を市内外へ積極的に発信している。

「高浜市といえば瓦。伝統の灯を絶やさぬよう、また、来訪者の増加など、市民や瓦業界以外の事業者とも力を合わせてまちが盛り上がる取り組みを続けていきたい。」と、2人は口をそろえる。

LEIA A PÁGINA EM PORTUGUÊS!

ポルトガル語のページを読んでください!

広報 **たかはま**

編集・発行／高浜市役所地域政策グループ

〒444-1398 愛知県高浜市青木町四丁目1番地2

TEL (0566) 52-1111 FAX (0566) 52-1110

<http://www.city.takahama.lg.jp/>

電子メール info@city.takahama.lg.jp

早期配布にご協力ください。

表紙

元気いっぱい「火の用心!!」

「火の用〜心! マッチ1本火事の元」。年明けの支度が進む住宅街にこだまする、拍子木を打つ明るい音と子どもたちの元気な声。

12月29日(日)、消防団が毎年行っている年末夜警に、地域の子どもたちも「かちかち隊」として参加し、消防団員といっしょに火災予防を呼びかけました。法被姿の子どもたちは、ちょっぴり恥ずかしげに、そしてちょっぴり誇らしげに、寒さに負けず、高浜のまちをパトロールしてくれました。



広報たかはまは植物油インキを使用しています。